

傾奇者（かぶきもの）・ 徒ら者（いたずらもの）

花の慶次・前田慶次郎



米沢市の慶次清水
前田慶次郎の屋敷跡



尾張で生まれ、滝川一益の従兄弟ともされ、母が前田氏と再婚。前田本家を継ぐ。前田利家の甥、利家と仲たがいし、京へ出る。利益(とします)、利太(としおき)、利大(としたか)と称した。

直江兼続を慕い、五十七歳頃に会津へ来たとされる前田慶次郎。会津時代は『直江支配分限帳』に千石とある。喜多方市塩川町に住んだ。今でも子孫が住む屋敷跡には、連れ子の二男利忠が蒔田善右衛門の娘婿となる。以後、前田を名乗り、直系は16代である。



直系は16代